

明日に向かって

ともに創る ⑦

大船渡市長 戸田 公明

さんまる いちまる

30・10運動を行いませんか？

大勢の皆さんが参加する夜の懇親会を感じていることです。せっかく提供された料理の多くが残されたまま、中締め・解散になることが数多くあり、大変もったいないことだと強く感じています。

懇親会では、乾杯の音頭が終わり、料理が提供され箸を付け始めたところから、飲み物のビンを持った人が一人二人と現われ、あちこちのテーブルを回っては、親しい人へのお酒つぎが始まります。さらに時間がたつてくると会場内はお酒を持って歩き回る人が増えてきます。私の席にも、多くの人がお酒をつぎにきますので、あまり食事はできませんのが実情です。

時間の経過とともに、各テーブルには料理が次から次へと運ばれ、テーブル一杯になります。やがて、中締めの時間になる頃には、テーブル

には、手を付けられたお皿、手が付けられなかったお皿、盛り皿が所狭しとなるのが常です。私としても、あまり食事ができず、自宅に戻ってから、妻の手料理で不足分を補うのが常です。

国の食糧自給率は魚介類を含め40%弱で推移していますので、このような光景を見るにつけ、もったいなく何とかならないものかと感じています。

どうしてこのような状況になっているのかですが、日本では会の目的と提供される料理がミスマッチの場合が多いからです。懇親会は、参加者が親しく会話をしながら交流することが目的です。一方で、提供される料理は本格的な食事会向けのコースが用意されている場合がほとんどです。ここがミスマッチなのです。欧米の国ではこの二つを使い

分けています。懇親会目的の場合には、立ち席でお酒とつまみ程度のものが運ばれてきます。本格的な食事会の場合には決められた席で、最後まで隣同士で会話を楽しみながら、コース料理を楽しみます。

このようなミスマッチを解消する意味から、市が主催する行事に付随する懇親会では30・10運動を行っています。これは、乾杯後の30分間と中締め前の10分間は、同じテーブルの皆さんと会話を楽しみながら食事をしましようというものであり、会の最初に説明しご理解とご協力をお願いしています。最初の30分間と最後の10分間の時間は同じテーブルの皆さんと話しをするもよし、別テーブルを回るのもよし、ということです。

市の行事ではこの取り組みを平成28年度後半から始めており、もったいないことが少なくなくなってきており、今後とも継続してまいります。市内関係者の皆さんも、もったいない状況を解消する意味から、30・10運動に取り組んでいただき、忘年会シーズンを快適に過ごしていたければと思います。

1月7日開催 大船渡市成人式



(昨年の様子)

多くの新成人の皆さんの参加をお待ちしています

成人式は、新成人が一堂に会し交流を深め、お互いに祝い合う素晴らしい機会です。

対象となる皆さんには、成人式の案内を送付しますので、ぜひご参加ください。

- ▷期日＝1月7日(日)
- ▷時間＝午前9時30分～正午
- ▷会場＝リアスホール
- ▷対象＝市内在住または出身で、平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれの人
- ▷その他＝成人者の家族なども参観できます。
- ▷問い合わせ先
生涯学習課生涯学習係(☎内線272)